

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新越谷校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎週、職員ミーティングを開催しており、情報共有を強化している。それ以外の空き時間にも話しやすい雰囲気づくりを徹底している。	・ミーティングの曜日や時間を予め決めており、必ず毎週ミーティングができるように、職員間でスケジュール調整をしている。 ・参加できない職員にももれなく情報共有ができるように、レポートにまとめ共有している。	職員の年齢や経験年数にとらわれず、自分のやりたいことや思っていることをより気軽に話すことが出来るように、継続してよい雰囲気づくりをしていきたい。
2	・家族支援(1時間の相談支援)の時間を提供することで、支援に対する満足度も高い。	・特に年長のお子さんは就学に向けて悩んでいる保護者の方が多くいらっしゃるため、就学前検診の前に相談できる場を用意しております。	・現在は提供できていないが、年齢の近いお子さんをお持ちの保護者の方を集めて、皆で情報共有や悩みを打ち明ける時間が作れるように検討していく。
3	・保育士の資格を保有している職員が2人いるため、児童発達支援をより専門性を持って提供することができる。	・児発の個別療育の支援内容はもちろん、小集団(きらりひろば)や毎月の製作のテーマ等、保育士の職員を中心に計画を練り、実施している。	・保育士の職員以外も、これまでの経験を参考に意見を出し合って、今までとは違ったイベントが出来たらよりよい児発支援になるだろう。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムを現在のところ出来ていない。	・ニーズはあり必要性を感じているが、実施に至っていない。 ・開催についての知識が足りない。	・まずは3ヶ月に1回の実施を目指す。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新越谷校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

9

回収数

9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1	0	0		法令に基づいた平米数の確保を行っております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	0	0	0		基準人員+加配人員で対応しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	0		各々の障害特性に合わせた環境及び対応ができるように工夫しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	0		お子様が集中できる空間を意識し、過度な装飾は行わないよう心がけております。また、毎朝掃除を行っております。
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		課題に合わせて本人が楽しみながら学習できるように、支援プログラムを組ませてもらっております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		ホームページに支援プログラムを公開しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		社内標準アセスメントツールを活用し個別支援計画の作成に活かしております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		お子様の成長に合わせて課題を適宜調整しながら、必要に応じて計画の更新も行い、適切な支援を提供できるよう考慮しております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		計画に沿った支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	0		指導員間でコミュニケーションを図り、固定されないよう工夫しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	0	0	2		地域連携の重要性を理解し、交流会等の機会を作るように考えてまいります。
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		契約の際、また質問を受け付けた際には丁寧に説明をできるよう心がけております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		追加の支援内容のご要望があった場合には、計画に入れる旨をより細かに説明し、必要に応じて計画の更新をしております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	1	1		家族支援イベントについてニーズを調査し、開催できるように検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0		毎回の支援後のフィードバックの際に情報共有ができるよう声掛けを行っております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	0	0		フィードバックのお話の内容により、こちらから相談支援のご提案をさせていただいております。また、保護者の方からご要望があった場合、都度対応しております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		保護者の方のお悩みやニーズに寄り添って支援内容や計画を立てられるように配慮しております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	0	5		項目14と同様。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	0		項目16と同様。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1	0	0		毎回の支援後のフィードバックの際に情報共有ができるよう声掛けを行っております。また、必要に応じてLINEにて情報共有を行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	0	0		Instagramやブログは定期的に更新しております。毎月の製作やイベントの様子についても掲載しております。入口にInstagramのQRコードも掲示されていますので、是非ご確認ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		個人情報を利用する際には保護者の方へ了承を取る事を徹底しております。(写真を含む)
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	0		重要事項説明書に記載の通り、毎月防災訓練を実施しております。入口の掲示、SNS等で実施について周知しておりますが、今後より周知できるように方法を考えてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	0		項目23と同様。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		支援中や支援後の遊びの最中にも怪我をすることがないように、見守りの強化や怪我を防ぐ等の対策を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	0		万が一事故や事故に繋がりそうな事案が発生した際には、速やかに対応した指導員や管理者から保護者の方へお伝えできるように徹底しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		今後も安心して通えるような環境づくりを続けてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	2	0	0		今後もきらりの支援を楽しんでいると思ってもらえるような支援を提供できるよう尽力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		今後も満足のいく支援を提供していけるように尽力しております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」新越谷校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		怪我等に繋がらないように、プログラムに応じて同時刻での受け入れ人数を調整している。	離席が多いお子さんの支援スペースの使い方については、検討していく必要があると感じている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員+加配人員で対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		何を片づければよいかわかるようになっている。	職員スペースと支援スペースの境目が曖昧なため、下に足のマークを付けて、そこで止まる練習をしたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝の掃除や、支援が終わるごとに机や備品の消毒を行っている。 ・小集団を行う際には仕切り等を移動し、部屋を広くしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	カーテンで仕切り個々人の場所を確保している。	・カーテンだけの仕切りのため、完全な個室ではない。 ・クールダウンできる場所がない。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		週1回、ミーティングを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的なアンケートを実施し、業務改善を図っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・週1回のミーティングの際に利用されているお子さんに関する情報共有を行っている。 ・不定期ではあるが、管理者との面談も行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		発達支援研究所との連携を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・ほぼ毎月、発達支援研究所主催の研修に参加している。 ・近隣校舎との研修も様々なテーマで定期的に行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・お子さんの特性を理解し、適切な支援プログラムが提供できるように心がけている。 ・支援プログラムはホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		社内でも共有されているアセスメントシートを活用し個別支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議の中で、そのお子さんにあった支援を提供できるように話し合いをしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・お子さん個人の支援ファイル(かご)に最新の個別支援計画を入れている。 ・出来上がった原案を指導員に共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内でも共有されているアセスメントシートを活用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者の方にニーズを再確認し計画を更新・作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員間での共有を常時行っている。 ・週1のミーティングを行っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		随時お困りごとを確認し、それを活動プログラムへ反映させている。	保護者からのお話がなくとも、今行っているプログラムが今合っているものなのか、職員間で検討する機会を多くした方がいいと感じている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		不定期ではあるが小集団イベント行っている。	個別療育のニーズが高く、小集団イベントへの参加者が固定化されてしまっている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		週1回のミーティングの中で情報共有を行っているが、毎日ではない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		週1回のミーティングの中で情報共有を行っているが、毎日ではない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援内容について気になったこと、保護者からのお話など、毎回支援記録に残すよう意識している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		職員全員でのモニタリング会議、保護者へのニーズの再確認を行い、目標の評価・再設定を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・相談支援事業所等から担当者会議の参加要請があった際に対応している。 ・相談支援事業所からの電話でのモニタリングは協力している。	・実際に関係機関等に足を運んでのサ担会には参加できていない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		お子さんの通っている園や、受診されている病院・クリニック等へ、お子さんの状況等の共有を行っている。	まだ機会が少ないため、今後増やしていけるように検討していきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		お子さんの通っている幼稚園・保育園等へ見学に行き、そこでの様子やきらりでの様子を必要に応じて共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		希望者が少ないため、あまり実施できていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		地域との連携はあまり取れていない。今後、周知活動も含めて、連携を深めていきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在は行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		フィードバックや家族支援の際に、ご家庭だけでなく、学校での様子等を定期的聞き、課題として入れられるものは支援に取り入れるようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在は行っていないため、今後、悩みを共有できる場として、ママカフェ等の保護者イベントの開催を検討したい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定は入口付近に提示、利用者負担については契約の際や請求書を配布する際に、支援プログラムについてはフィードバックの際に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		日々のフィードバックやモニタリングを行う際に保護者やお子さん本人の意向を確認している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		新しい計画にサインをいただく際に、保護者の方への説明を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		フィードバックの際にお悩みを聞いたり、時間が足りなければ相談支援に繋げている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在は行えていないが、今後、ママカフェや兄弟等も参加できる外部向けイベントも増やしていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者の方とのコミュニケーションも密に行い、苦情に繋がらないように努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログやインスタグラム等のSNSを通じて、毎月の製作や小集団イベントについて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については施錠できるロッカーでの保管を徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんや保護者一人一人に寄り添ったフィードバックを行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		外部向けイベントを今後増やしていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・年に12回、防災訓練を実施している。 ・各種マニュアルを準備しいつでも見ることが出来るようにしている。 ・感染症については社内研修に参加している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・本部主催のBCP研修や訓練に参加している。 ・月に1回、テーマに合わせた防災訓練を行い、避難経路等の確認をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服用している薬やアレルギー等の確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			※食事提供なし。 アレルギーについての聞き取りはしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画についても、本部主催の研修・訓練に参加している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			保護者全ての方への周知が出来ていないため、今後方法を考えていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリとした内容を共有し、ヒヤリハット報告書を少なくとも1件作成できるようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止についても、本部主催の研修・訓練に参加している。 ・日頃の支援の際にも虐待に繋がる対応がないように、職員間でも確認している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		指導員の意向も考慮し、保護者の方への十分な説明を行い、同意を得た方のみ身体拘束を行っている。	